

事務事業名 筑紫野市身体障害者福祉協会補助事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：224

施 策：	11	障がい者福祉の充実	財務コード	01030104-03-168
基本事業：	03	社会参加の促進と就労支援	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標	①自立支援給付（訓練等給付）の利用者数 ②音声・言語、聴覚障がい者の手話通訳派遣回数		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度			新規・継続		継続		会計区分		一般会計		実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）									
筑紫野市身体障害者福祉協会			市の障がい者福祉活動の中心的役割を担う筑紫野市身体障害者福祉協会の活動に対して補助を行うもの。 【筑紫野市身体障害者福祉協会の活動】 ・軽スポーツ教室、ボウリング、ボッチャ、カローリングなど ・グラウンドゴルフ大会 ・定例会議、交流会 等									
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）												
筑紫野市身体障害者福祉協会の活動が充実・活性化し、障がい者の相互交流や社会参加をはじめとした障がい者福祉施策全般の推進が図られている。												
4. 成果（簡易評価は未記入）												
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標			
筑紫野市身体障害者福祉協会会員数		人	116	105	130	100			250			
各種事業参加者合計数		人	201	225	300	250			700			
5. コスト												
事業費	計	千円	600	600	600	540						
	国	千円	0	0	0	0						
	県	千円	0	0	0	0						
	地方債	千円	0	0	0	0						
	その他	千円	0	0	0	0						
	一般	千円	600	600	600	540						
正職員人工数		人工	0.01	0.02	0.02	0.03						
正職員人件費		千円	77	156	160							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	677	756	760	540						
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）												
○あがっている ●どちらかといえばあがっている ○あがっていない（停滞・低下）		・身体障害者手帳を取得する人は増加しているが、新規会員の増加に結びついていない。 ・新規加入者が少ないため、入院や高齢化による退会者が上回り、会員が減少傾向にある。 ・近年は新型コロナウイルス感染症の影響で事業参加者数は減少したのち、令和5年度実績では令和4年度よりも増加した。 ・チラシを市役所、コミセン等に設置して周知をしており、今年度も団体の周知等に力を入れていく。										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）												
対象動向	維持	類似事業	なし	・会員の年会費が500円と低額である。過去に値上げを検討したが、会員からの反対意見が多く、実現ができていない。 ・新規会員を増やすために募集チラシを作成するなど、会員増に向けた取り組みを行っているが、成果がでていない。								
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし									
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし									
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり									
成果向上余地	中程度											
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了						
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持／事業終了の場合は記入する必要なし）												
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）												
■備考・特記事項 or 進行管理欄												
「ノーマライゼーション」と「リハビリテーション」を基本理念とし、障がい者福祉の増進を図るため、筑紫野市身体障害者福祉協会に運営の補助をすることとしている。												